令和８年度 大阪市障がい者施策推進協議会 障がい者計画策定・推進部会
並びに精神障がい者地域生活支援部会　第１回合同ワーキング会議　　議事要旨

日 時：令和８年５月 22 日（金）午後３時から５時
場 所：大阪市役所　屋上階　Ｐ１共通会議室

【参加委員】
・会場参加
芦田委員、井上委員、大野委員、酒井（京子）委員、澤委員、潮谷委員、たにぐち委員、布村委員、長谷川委員、星沢委員、三田委員、山梨委員、和多田委員

【議題１：ワーキング会議座長・副座長選出について】
・ワーキング会議座長として、三田座長、副座長として、井上副座長が選出された。

【議題２：次期計画「第１　部総論」、議題３：次期計画「第２部　障がい者支援計画」】
＜主なご意見＞
・グループホーム等の事業所について、第三者が入らないと指導監査などだけでは内情がわからないので制度の充実を図っていただきたい。
・手話施策推進法が施行されたので、大阪市としてどんなことをするのか表していただきたい。
・手話施策推進方針の検討会議について、定期的な推進方針の見直し検討を行う必要があると思うので、継続的に開催してもらいたい。
・精神科病院における虐待への対応で、具体的な件数をわかりやすく記載してほしい。
・虐待は養護者からも施設でも居宅であっても起こるため、病院に限らず、虐待が起こるかもしれないことを最小化したり未然に防ぐといった取組みが求められる。
・この会議で求められているのは、障がい者計画の基本的な方向性と課題を整理して、そこをどうしていくかという方向性を示すという議論なのではないか。
・次年度計画を策定するうえでは、達成状況や達成目標、進捗状況といった数的な具体的裏付けが必要。
・総論的な部分で、難病の記述をもう少し入れてほしい。
・旧優生保護法に係る訴訟の結果を受けて、再発防止のための啓発をどうしていくか触れられていない。また、総量規制の実施について、その結果を受けてどうするのかを明示するべき。
・就業のところで、雇用率について書くのであれば、2025 年４月１日に除外率も引き下げられたことを併せて書いてほしい。また、適切な支援を受けられないまま、本来は一般就労の力が十分ある人たちが何もせずにそこにとどまっているということは大きな課

題なので、改めて記載してほしい。
・働きたい人や働く力のある人が搾取されてる状態があり、本人も気づいておらず、何ら監査が入らない状態が繰り返されてるのは大きな問題。この事象は地域でも発生してると思うので、モニタリングの実施を考え、国にも働きかけてほしい。
・親亡きあとの問題や、相談につながっていない人の問題はたくさんあるため、適切な支援が受けられるように福祉サービスの介入を勧めてほしい。
・支援の中心となる人間が倒れたときに頼れる支援がない。実質、親依存から抜け切れておらず、親にかわる支援がない実態が問題である。
・地域にもし出られたとしても、当事者を支援する体制がなければ意味がないし、家族だけに負担がかかってしまうと、地域に一旦出たとしても、もう一度病院に戻らなくてはならなくなるのが現状なので、地域で支える手立てを検討してほしい。
・地域移行について、グループホームの数は増えているが、実態としてはやはり受け皿がなく、入所待機はいつまでたっても減らない。これまでも取り組んできたが、こういう課題が残っているといった分析をするべき。
・難病患者の就業支援についての記載が他と比較して少ないため、追加していただきたい。